

十和田湖

十和田湖は秋田県と青森県の県境に位置しています。面積は 61.11 平方キロメートルで、約 10 キロメートル四方の大きさです。最深部の深さは 326.8 メートルもあり、日本で 3 番目に深い湖です（2018 年時点）。

かつてほとんど人気のなかった湖畔地帯を生まれ変わらせたのは、和井内貞行（1858 年～1922 年）です。和井内はヒメマスを湖に移入して、養殖産業を創始することに成功しました。今日ではそのヒメマスが十和田一帯の特産品となっており、年間水揚げ量は 10 トン以上に上ります。ここ発荷峠から目前に見えるのは御鼻部山です。後ろには八甲田連峰、右手には中山半島と御倉半島が見えます。麓に目を下ろすと和井内ふ化場が目に入ります。和井内ふ化場では今日に至るまでヒメマスの養殖を続けています。